

Viva Arte No.9

文化研究講座 10/13 「オルフェイ・ドレンガー ~スウェーデン王立男声合唱団~」

みなさん、こんにちは！

文化研究講座をより楽しむために、ちょっとした知識などを
学生の視点からわかりやすく紹介します！

今回はスウェーデンについて、合唱に関することについてご紹介します！

歌の国 スウェーデン / 世界一の男声合唱団！

スウェーデン音楽の柱となっているのは歌。

『Dancing Queen』や『Mamma Mia』など世界的なヒット曲で知られる **ABBA** もスウェーデンの出身です♪

南北に長いスウェーデンには、小さな集落が国中に散在しています。しかし、ストックホルムなどの大きな街にしかコンサートホールはありません。大都市から離れた地域に住む人たちにとって一番手軽な音楽は「歌」でした。どんな所でも複数の人が集まれば合唱団を形成することができるため、国中の至る所に合唱団が存在しています。

「オルフェイ・ドレンガー」は、1853年にストックホルムでコレラが蔓延した際に、士気発揚のためにウプサラ大学の合唱愛好者たちが集まってベルマンの「Hör i Orphei Dränger」等を歌ったのが始まりだそう。150年以上の歴史を誇り、数ある男声合唱団の中でも世界一と言われています。メンバーは、北欧最古で北欧一の名門ウプサラ大学を母体に、その在学生や卒業生から構成されています。

スウェーデンには他にも「スウェーデン放送合唱団」や「エリック・エリクソン室内合唱団」など世界的に有名な合唱団がいくつもあります。



ギリシャ神話「オルフェウス」

オルフェイ・ドレンガーとは「オルフェウスのしもべたち」という意味。

合唱団の名前の由来となったオルフェウスは、ギリシャ神話に登場する吟遊詩人です。

オルフェウスは、オリンポス山の北のトラキアで生まれました。彼の美しい声と妙なるたてごと 豎琴の調べは、野獣はもちろん森の樹木にも感動を与えたといいます。

オルフェウスの妻であるエウリュディケが、散歩の途中に毒蛇にかまれこの世を去り、彼は愛する妻を取り戻すために冥界に下りました。彼の奏でる音楽は、冥府の番犬ケルベロスをはじめ、地獄のあらゆる住人を魅了し、冥界の神ハデスは、地上に出るまでは決してエウリュディケの顔を見ないという約束で彼女を連れ戻すことを許しました。しかし、喜んで妻を従えて地上へ急いだオルフェウスは、あと一歩というところで誘惑に負けて後ろを振り返ったため、エウリュディケはふたたび冥府へ落とされてしまいました。

その後、豎琴は天に昇って夏の星座である「琴座」になったといわれています



スウェーデンの社会福祉について

スウェーデンといえば・・・？ ノーベル賞の国？？

それも正解ですが、実は社会福祉が充実している国といわれています。国の税率はなんと25%！！

税率はかなり高めですが、税金の使用に関して政府が国民からしっかり理解を得ていることなど、支払う価値があると思う国民が多いのではないのでしょうか。また、日本との大きな違いは、日常生活の中に社会福祉が浸透しているということです。スウェーデンの大学の学部は、日本の「社会福祉学部」などのように、福祉を学ぶことをストレートに表している大学は少ないそうです。

その理由として、国民を「揺り籠から墓場まで」保護する体制が整っていることがあるでしょう。スウェーデンでは、赤ちゃんが生まれるとその子は保育所、就学前学校、9年間の義務制基礎学校、3年間の高等学校、大学という教育を受けますが、保育所、就学前学校を除く教育費は無料です。（保育所、就学前学校の費用も公的に大部分供給されます）また医療もすべての住民が無料で受けることができます。

この寛大な経済保障のシステムは、全てがうまくいっているようですが、現実では様々なトラブルも発生しています。最近の話題として、スウェーデンでは9月に総選挙が行われました。深刻な失業率の悪化や移民問題等を抱える現状があり、第二次世界大戦後の福祉国家づくりを推進してきた社会民主労働党はこのところ連敗しています。幸せな福祉国家のイメージが崩れつつあるようです。



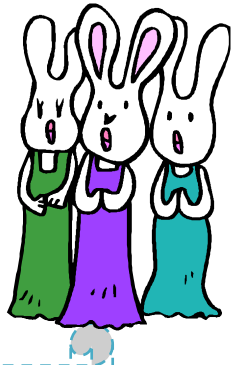
合唱Q & A ♪

声の良くなる食べ物、飲み物がありますか？

プロの方々に人気の食べ物は、はちみつ、花梨だそうです！はちみつは、レモンとお湯で溶かして飲む、花梨は、風邪の特効薬とされているので、市販の花梨ジュースを飲んだり、そのままかじったりするそうです。

歌はお産に良いの？

なんと声楽家は安産が多いという話がよくあるそうです。出産の時は腹式呼吸を使うそうですが、合唱で重要な腹式呼吸を産科医に教えてもらわなくても、習得しているからだそうです。ある女性声楽家は、出産予定の一月前に本番があったそうで、その際の伴奏合わせでうっときてしまい、そのまま出産したという嘘のような本当のお話があります。みなさんも合唱で楽しく腹式呼吸を学び、出産の際に役立ててはいかがでしょうか？！



いかがでしたでしょうか？

「Viva Arte No.9」は、現代教養学科ブログにも同じものを掲載しています。

ブログ・アドレス <http://net.swu.ac.jp/gendai-blog/>

ご意見・ご感想、リクエスト等ありましたら、viva_arte_2010@yahoo.co.jp にメールをください！！

担当：現代教養学科 Viva Arte 編

<参考文献一覧>

戸羽晟『歌の国スウェーデン ークラシック音楽ガイドー』（株式会社 新評論, 2008年）

清水雅彦著『コーラスを歌おう』（音楽之友社, 1996）

高島昌二著『スウェーデン社会福祉入門 - スウェーデンの福祉と社会を理解するために - 』（晃洋書房, 2007）

Yahoo 百科事典「オルフェウス」（閲覧日：2010年10月9日）

<http://100.yahoo.co.jp/detail/%E3%82%AA%E3%83%AB%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%A6%E3%82%B9/>